

穴をあけて綴じてください



初詣は氏神さまから

崇敬会会員と家族の昇殿参拝

平成18年1月3日 午前10時30分(第1回)
午前11時30分(第2回)

1月3日の午前10時30分からと11時30分からの2回、崇敬会会員とその家族にかぎり、昇殿参拝の式をおこない、神社から神酒と特別な御札が授与されます。

崇敬会では新春記帳所を設けますので、ご記帳のうえ、御供物をお受け取りください。なお境内には、甘酒進上の席も用意いたします。ご家族そろって多数ご参拝ください。

鎮座九百五十年大祭奉賛会

六郷神社は、平成19年に鎮座九百五十年祭を迎えるので、各種の記念事業を遂行するため目下、奉賛会設立の準備を進めています。

奉賛委員として御協力いただける方は、社務所までお申し出ください。委嘱状が発給されます。設立総会は、平成18年4月20日の予定。



六郷神社の神紋は三つ巴紋です。民俗学者の宮本常一氏は、この巴紋について『絵巻物に見る日本庶民生活誌』の中で、次のように述べています。

三つ巴紋

上代における民衆の生活を見ると、目に見えぬ人間以外の力を信じ、ときにそれを幻として見ることがあり、それが信仰となつていったものがあることを知るのであるが、一方では人間の持つ呪術や呪力によって災厄を防ぎ、幸福をもたらそうとする工夫も盛んに行われていた。

そうした呪術的な行為も絵巻物の中には数多く描かれている。家紋のようなものの中にも、呪術的なものが少なくなかつた。

三つ巴紋 宮本常一

うのは獸皮で半月形の袋状のものを作り、中に獸の毛を詰める。

それを弓を引くとき左手の手首に結びつけ、矢を放つたとき、弦の衝撃を防ぐためのものであつた。その鞆の形を三つ組み合

は魔や災いを防ぐ呪力があつたと考えるが、これが武神として尊崇された八幡宮の神紋にもなつて、武家の間にとくに尊ばれる紋となつたのである。

八幡宮の根源は宇佐であり、宇佐八幡の神紋は三つ巴である。

そこから勧請され、造営された箱崎八幡宮、石清水八幡宮も同様。さらに石清水八幡宮から勧請された鎌倉の鶴岡八幡宮の神紋も三つ巴であった。鎌倉武士が守護地頭として各地へ下つていったとき、莊園や名田の鎮守神として八幡宮をまつることになるが、それらの多くも神紋を三つ巴にしている。

神紋から家紋へと普及していくには、紋のもつ呪性が人びとに意識されていたであろうと考える。魔除けになるようなものは、われわれは日常生活の中で最もたいせつにした。「年中行事絵巻」には田楽踊りが描かれた場面がいくつもあるが、田楽に用いる太鼓にはほとんど三つ巴が描かれている。單なる装飾ではなくつたであろう。

◆新入会員紹介

南一・谷口佳鳳子 東二・日高信子、布川テル子 仲三・隅田弘男 川崎区桜本 青木圭子

◆ついたち早朝参りの短い講話者

（平成17年）	3月・喜多絹子	4月・宮崎 豊
5月・吉田恒男	6月・森田賢治	7月・平野順治
9月・石井君子	8月・喜多絹子	10月・鈴木祐一
11月・湯沢 靖		12月・岡田チイ

◆監事交替

発会以来の林 孝嘉氏が退任され、新しく吉野鷹夫氏が就任されました。

◆歳旦祭に清酒一斗樽を奉納

発行：六郷神社崇敬会
〒144-0046 大田区東六郷三丁十一十八
電話：03-3731-2889
振替：03-3731-23553
編集：平野順治